

第2回 茨城港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画作成ワーキンググループ

議事概要

会議概要

日時：令和3年9月3日（火）13:30～14:30

開催形式：Web 会議

議事内容

○事務局から資料に沿って説明

- ・茨城港におけるCO2排出量の推計（暫定値）及び水素等需要ポテンシャル（暫定値）を示すとともに、水素等需要ポテンシャルから必要となる施設規模（試算）を説明した。
- ・「茨城港CNP形成計画（原案）」の作成に当たっては、「CNP形成計画策定マニュアル（ドラフト版）」（令和3年8月31日、国土交通省港湾局）を活用し、次回のCNP-WGで提示する旨説明した。
- ・茨城港における将来（2050年）のCNP形成イメージ案を提示した。各企業におけるご意見等を踏まえ、事務局にてとりまとめ作業を進める。

○各企業における脱炭素化に向けた取組について紹介

- ・物流関連企業としてはサプライチェーンの一部として関わることになり、荷役機械・車両・タグボートのFC化等で脱炭素について検討していきたい。ただし、脱炭素化の荷役機械は市場に出回っていないことから導入には時間がかかるため、機械更新と合わせて導入を検討していきたい。
- ・エネルギーを使用する側として、関連企業にヒアリングしたところ、関心は高いがコスト面を懸念しており、県・国の財政面での支援をお願いしたい。
- ・製造業としては、生産時のCO2削減、港湾への輸送や荷役時のCO2削減などについてまずは検討していきたい。
- ・コージェネレーションなど既に実践している分野を深化させつつ、既存インフラを活用した水素の製造やメタネーションなどを検討していきたい。

以上